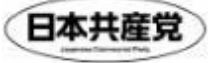




久保田由夫 ほっと通信



NO. 102
2020. 7月号
【部内資料】



発行 くぼたよし事務所 ☎42-6361 fax 42-5630
く久保田由夫のブログ・ツイッター・フェイスブックもご覧いただけます。>



<季節の写真>

上は、自治会で今年植えたあじさいが開花
下は、アユ釣り解禁（長瀬橋より 6月20日）

◆6月28日、上田駅前藤野保史衆議院議員が緊急国会報告をした。「政治は変えられることを実感した国会であった」と例をあげて報告した。(裏面に関連記事)◆上田市議会6月定例会は、8日から25日まで開かれた。通常の議会と変わった点は、個人質問がなく、6つの会派の代表質問のみとなった。しかも、これまでの代表質問は70分であったものが、今回4人会派は45分に短縮された。新型コロナ対応だが、共産党市議団は制限しすぎと主張した。◆共産党市議団の代表質問は、私(久保田市議)が行った。(下段に掲載)時間内では収まらず残した質問は、9月議会に持ち越しとなった。◆うれしいニュースが総務文教委員会を開催中に報告された。上田市が何回も挑戦(申請)していた上田市の歴史と特徴のある文化遺産群について、文化庁から日本遺産として認定された。上田市単独での認定であり、今後の取り組みには知恵を出していきたい。◆リーマンショック時より国からの臨時交付金が少ないことが懸念されたため、総務文教委員会では、「地方創生臨時交付金の増額を求める意見書」を出した。リーマンショック時は、25億円余であったが、今回は、20億円余である。台風災害の復旧事業にも多額の財源が必要である。◆和歌山県知事の「国が何を言おうと自ら判断」(朝日新聞記事)が目にとまった。地方分権は国と地方との関係を「上下、主従の関係から対等原則へ」が理念である。◆新型コロナ収束後は、国民の意識が変わり、社会・経済システムとともに、国と地方との関係も大きく変化することを期待したい。(くぼたよしお)

子どもたちの心身へのケアや授業時間の確保は？ 社協が窓口の貸付金は激増！

質問 3月から5月までの間、長期休業は子どもたちにとって心身のストレスがたまり、学校の再開が待ち遠しいとの声もたくさん伺いました。子どもたちの心身のケアが重要だと考えますが。

答弁(教育長) 学校の再開に当たり、児童生徒に寄り添い、一人一人の心配や不安を受け止めたり、授業をサポートしていくことは例年以上に大変重要だと考えております。国の制度の活用や、これまでと同様に皆様にご協力を賜りながら、子どもたちの学びや充実した学校運営を支援してまいります。

質問 ネット依存への対応と虐待やDVの防止対策はどうか。

答弁(教育長) ネット利用の場所や時間を皆が納得の上で決めて、自分をコントロールできるように生活習慣を見直す機会を持ちたいと考えている。児童虐待やDVについては、上田市にも心配な事例があったことから、学校では担任が家庭訪問を行う際に児童生徒の状況把握にも努め、必要な場合には市児童福祉担当部署や児相へ連絡を取るなど、虐待についても連携して取り組んでいる。学校にはスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを派遣しており、これまで以上に教員同士またスクールカウンセラー等の情報共有を図り、連携をしながら取り組んで、状況に応じた適切な支援をしていく。

質問 授業時間の確保はどのように考えているか。併せて学校行事の縮出と小が考えられるが、修学旅行や文化祭は子ども達にとって一生の思い出なる行事だが、どのように考えているか。

答弁(教育長) 学校では、長期休業によって不足した授業時数180時間、その学習の遅れを取り戻すために時間割編成の工夫、(右へ)

久保田由夫議員の代表質問の質問項目

- ・ 新型コロナウイルス感染症に対する市長の見解
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策
- ・ 新型コロナウイルス対策と指定管理制度
- ・ 学校再開後の学校運営と今後の見通し
- ・ 令和元年東日本台風災害の復旧・復興事業

<質問でわかった各種データ>

- ◆ 生活保護申請 40件(昨年とほぼ同じ)
- ◆ 居住確保給付金 30件(昨年3件)
- ◆ 緊急小口貸付金 300件
- ◆ 総合支援資金貸付金 70件(昨年合わせて2件)
- ◆ 特別定額給付金 約65,000世帯(95%)の申請があり、(1人10万円支給) 約141億円支給済み
- ◆ 制度融資 289件申請あり
- ◆ 旅館・ホテル事業者支援金 197件に発送、受付件数は125件
- ◆ 税の猶予(2種類あり)
あわせて、109件、金額で1億5,000万円弱うち、旅館等の宿泊業の法人は、28件、金額で6,500万円余

夏休みの短縮、学校行事の精選などを検討している。授業時間を確保しながらも、学校行事などを含めて児童生徒同士の関わり合いや集団生活から得る学びを大事にし、教育活動を進めることも非常に大切である。修学旅行や文化祭は学習指導要領において特別活動の一つとして位置づけられ、その教育的意義は大きく、学校生活における諸活動の中でも参加する児童生徒にとって印象に残る価値あるものだと考えている。